

- 侵入センサーにより檻の周辺に動物がいないことを確認し、目的頭数以上を自動捕獲。
- 動物に檻の危険性を学習されることが少ない。

機器情報

➤ 機器の概要

● 目的頭数以上で自動捕獲

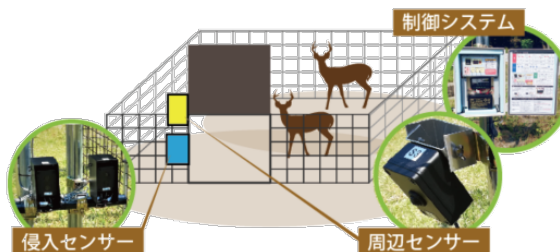
侵入センサーで檻内の獣の頭数をカウントし設定頭数以上であることを確認後、周辺センサーで檻外に獣が残っていないか確認し、ゲートを閉鎖

➤ 使用目的 効率的・効果的な捕獲

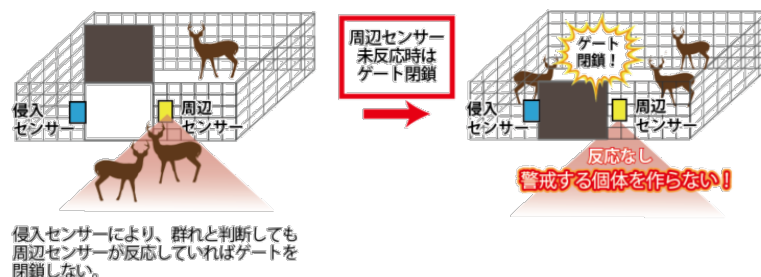
➤ 対象鳥獣 イノシシ・シカ・サル（囲いわな）

➤ 特長

侵入センサーにより群れと判断しても周辺センサーが反応していなければゲートを閉鎖しないので、獣に檻の危険性を学習されることが少なく、捕獲効率の向上につながる



システム設置例(囲い罠はシステムに含まれません)



活用技術

赤外線センサー、ソーラーバッテリーシステム

導入実績

➤ 導入実績

全国約**180**台以上導入実績

島根県川本町、宮崎県延岡市、
山梨県広州市、北海道札幌市等



イニシャルコスト

➤ イニシャルコスト

システム一式：658,850円（税別）
※設置施工費別

問い合わせ先

企業名：株式会社アイエスイー
所在地：三重県伊勢市
連絡先：電話 0596-36-3805